

市指定文化財候補 山芦屋古墳出土遺物 概要

- 1 所有者 芦屋市
- 2 収蔵場所 芦屋市三条町39-20 芦屋市役所三条分室
三条文化財整理事務所（芦屋市教育委員会社会教育部生涯学習課）
- 3 種類及び数量
 - (1) 金属器（馬具）…18点
雲珠1点，鞍骨1点，方形飾金具4点，菱形飾金具2点，不明飾金具片2点，轡引手金具2点，雲珠等の脚1点，穿孔のある馬具片1点，鋏2点，不明鉄製品2点
 - (2) 金属器（その他）…5点
刀子1点，鉄釘2点，捩じり環頭1点，釣り針状鉄製品1点
 - (3) 玉類…6点
水晶製三輪玉2点，ガラス製棗玉2点，ガラス小玉2点
 - (4) 渡来系須恵器…2点
平底短頸直口壺1点（※内部に付着物あり。壺内より種子2点出土。），器台1点
 - (5) 須恵器・土師器…30点

4 概要

山芦屋古墳は、芦屋市山芦屋町に所在する古墳。直径20m以上の円墳で、両袖式の横穴式石室をもつ。築造時期は6世紀後半で、その後7世紀中ごろまで追葬活動が続いたと考えられる。昭和51（1976）年に、個人住宅の車庫建設工事に際して不時発見されたもので、本資料はその緊急発掘調査の際に出土したものである。なお、石室は調査後に埋め戻されている。

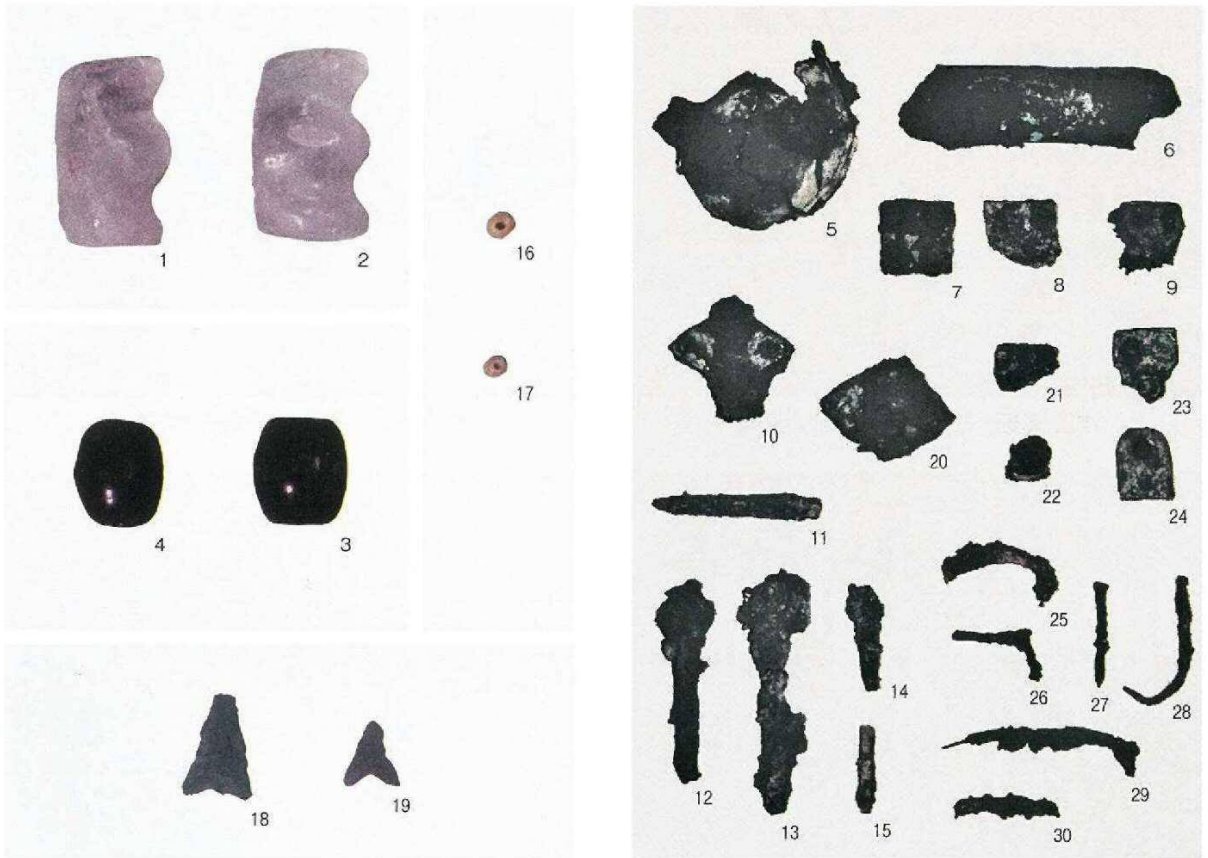
規模や副葬品から、被葬者は西摂地域でもトップクラスの豪族であると考えられる。



【図1】山芦屋古墳の横穴式石室（羨道部側壁と玄門石抜去部分）



主要須恵器一括写真



三輪玉・秦玉・ガラス小玉・石鏃

金属製品（馬具・刀装具など）

【図2】山芦屋古墳出土遺物『芦屋市文化財調査報告第107集』